

決算説明資料

2026年3月期 第2四半期（中間期）



2025年10月29日

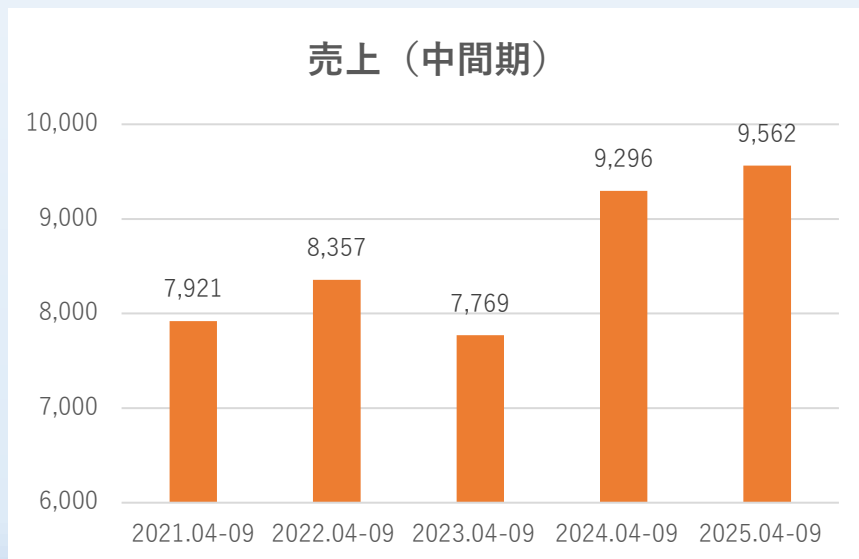
ダイソーケミックス株式会社



2026年3月期 連結中間決算（2025年4月1日～2025年9月30日）

決算期	売上高（百万円）	営業益（百万円）	経常益（百万円）	純利益（百万円）	1株益（円）	1株配（円）
2021.04-09	7,921	888	1,034	790	(73.63)	7
2022.04-09	8,357	701	604	387	(36.11)	6
2023.04-09	7,769	246	41	18	(1.75)	5
2024.04-09	9,296	380	353	218	(20.38)	5
2025.04-09	9,562	434	419	210	6.53 (19.59)	0

※ 1株益の（ ）内は株式分割前の数値となります



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策や物価高の影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、中東情勢の緊張やロシアによるウクライナ侵攻の長期化などの影響に伴う地政学的リスクの高止まり、物価や人件費上昇に伴う影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

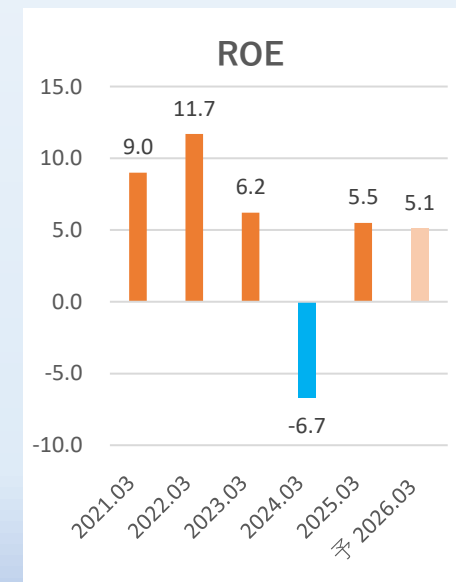
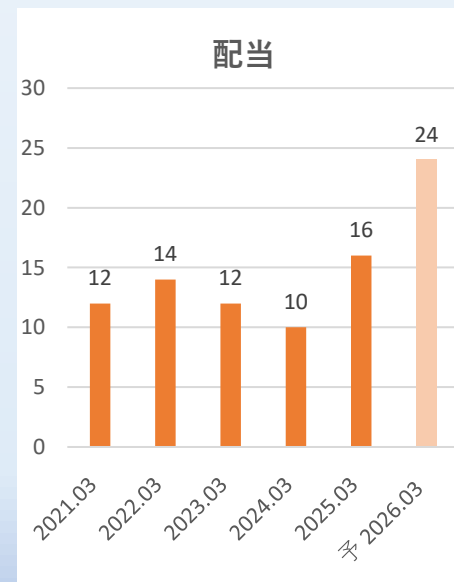
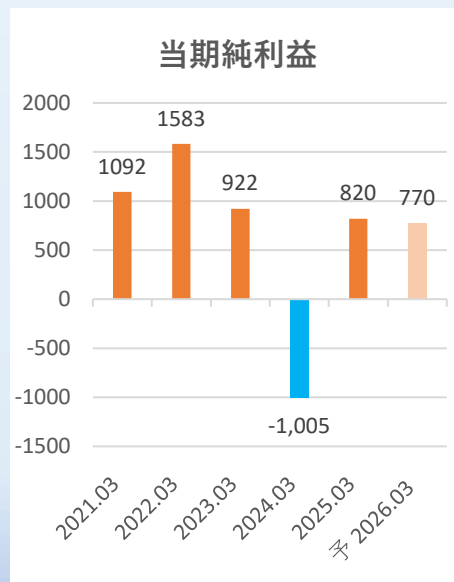
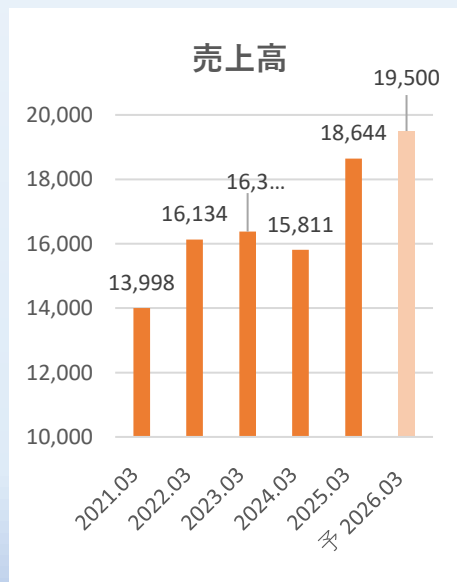
このような環境のもとで当社グループは、2025年3月期をスタートとする3ヵ年の中期経営計画を策定し、その目標達成に向けて各種施策に取り組んでおります。特に、先端の半導体用感光性材料やディスプレイ周辺材料などの電子材料、印刷用色材などの機能性材料、廃棄物処理、リサイクル分野の強化、DX推進や自動化による安全・品質の向上と省力化に向けた設備投資、持続的な成長と最適な組織運営を図るための社員採用など、成長投資にも積極的に取り組みました。

その結果、当中間連結会計期間における売上高は95億62百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は4億19百万円（前年同期比18.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2億10百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

2026年3月期 連結通期業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

決算期	売上高（百万円）	営業益（百万円）	経常益（百万円）	純利益（百万円）	1株益（円）	1株配（円）	ROE（%）
2021.03	13,998	1,443	1,231	1,092	(101.75)	(12)	9.0
2022.03	16,134	1,763	1,751	1,583	(147.50)	(14)	11.7
2023.03	16,377	1,283	1,291	922	(85.96)	(12)	6.2
2024.03	15,811	776	-732	-1,005	(-93.70)	(10)	-6.7
2025.03	18,644	848	819	820	(76.41)	(16)	5.5
予 2026.03	19,500	830	870	770	23.91 (71.73)	8 (24)	5.1

※ 1株益および1株配の（）内は株式分割前の数値となります



経営目標 2026年度連結経営目標

売上高

200 億円

経常利益率

6%+α

経常利益

13 億円

EBITDA

25 億円 (当社単体)



2030年度の
ありたい姿

売上高

250 億円

経常利益率

10%+α

経常利益

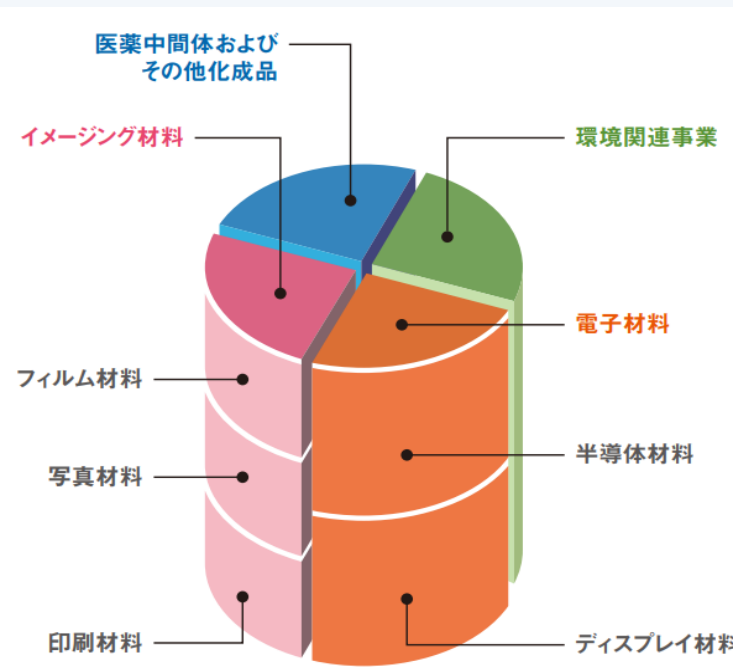
25 億円

EBITDA

35 億円 (当社単体)

事業紹介

技術立社の基盤を支える独自の発想、最新の設備・技術



配当方針【株主還元】

健全な企業経営に努めると共に、企業価値を高めることによって、株主の皆様
に利益還元を図っていくことが最も重要であると考えております。配当性向
30%を重要な指標とし、業績に応じた配当に努めるとともに、今後の事業展開に
備えた内部留保など総合的に勘案して決定することを基本方針としています。

「化学」が持つ「不思議なチカラ」を暮らしに、社会に、未来に役立つ「特別
なチカラ」に変えていく。当社には、研究者が直接お客様のニーズをお聞きし、
独自の視点、発想力と、歴史の中で蓄積した経験とノウハウを活かし、大量生産
を可能にする技術力があります。そして、その「特別なチカラ」を生み出す設備
群。安全・安心で高い品質を維持しながら、世の中に安定して送り出すために、
品質保証、安全管理、および環境管理体制の構築。そのトータルな力が一歩先を
ゆく「スペシャリティ・ファインケミカルメーカー」、技術立社のダイトーク
ミックスを支えています。

時代の変化を読み解き、多様化するニーズに応え、
中長期的な視野で新たな価値創造に挑みます。

1938年に大東化学工業所として創立したダイトーケミックスは、常に時代を取り巻く数々の課題に向き合い、人々の暮らしの豊かさに貢献する化学メーカーとして発展し、成長してきました。私は2022年6月24日に社長に就任し、4年目を迎えています。この間、コロナ禍を経てもなお、世界情勢は依然として先行きが不透明であり、日々、事業環境は目まぐるしく変化しています。不確実性の高い時代だからこそ、当社が継続してきた安全・環境・社会貢献への取り組みを受け継ぎ、中長期的な視野を意識しながら企業経営に取り組み、高い技術力とスピード感のあるサービスを強みにスペシャリティ・ファインケミカル企業グループを目指してまいります。

代表取締役執行役員社長 すみの 住友 あけのすけ 朱之助



会社概要

商号	ダイトーケミックス株式会社
創立	1938年11月19日
設立	1949年12月2日
資本金	29億116万3,150円
社員数	244人(2025年6月現在)
営業品目	半導体および液晶用感光性材料、印刷材料、 写真材料、機能性材料、医薬中間体、その他化成品

関係会社(事業内容)	日本エコロジー株式会社 (産業廃棄物の処理および化学品のリサイクル) ディー・エス・エス株式会社 (製造・物流・事務等の業務請負、没食子酸誘導体の製造販売) DAITO-KISCO Corporation (感光性材料の製造販売)
取引商社(五十音順)	蝶理株式会社 長瀬産業株式会社 中谷産業株式会社 パシフィックパートナーズ株式会社 三木産業株式会社 都興産株式会社
取引銀行(五十音順)	三井住友銀行 船場支店 三菱UFJ銀行 中之島支店

拠点



本社(大阪)

〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号



東京オフィス

〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル7階



技術開発センター

〒574-0044 大阪府大東市諸福八丁目3番11号



静岡工場

〒437-1424 静岡県掛川市浜野3110



福井工場

〒910-3137 福井県福井市石橋町31字118

【ご注意事項】

本資料の業績予想、経営目標、2030年度のありたい姿に関する数値については、
確約するものではありません。投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。